

令和6年8月9日
岐阜県病害虫防除所

果樹カメムシ類の発生に注意！（第2報）

本年6月に、中濃および東濃地域ではチャバネアオカメムシおよびクサギカメムシの越冬世代成虫の発生が平年より多くなりました（病害虫情報第6号にて報告済）。本年のヒノキ毬果の形成量は多いと考えられ、新世代成虫の増殖も多くなることが予想されます。岐阜市則松に設置した予察灯では、ツヤアオカメムシの誘殺数が8月第1半旬に急増しました（図1）。また、高山市国府町に設置した予察灯では、クサギカメムシの誘殺数が7月第4半旬から8月第1半旬にかけて急増しています（図2）。

また、チャバネアオカメムシ新世代成虫が果樹園に飛来する目安となるヒノキ毬果の口針鞘数（カメムシの吸汁痕）が急激に増加しています（表）。口針鞘数が1果当たり25本に達すると、ヒノキ林からの離脱が始まるとされていますが、口針鞘数の増加時期が地域によっては平年に比べ半月程度早まっています。そのため、早い地域では8月下旬頃にはカメムシの離脱が始まると予測されます。カメムシの飛来を確認したら、直ちに防除を実施してください。

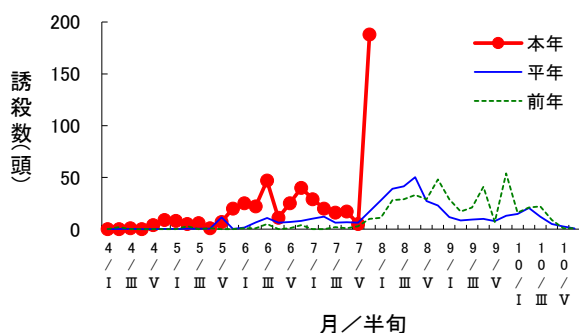


図1 予察灯によるツヤアオカメムシ誘殺数の推移
(岐阜市則松)

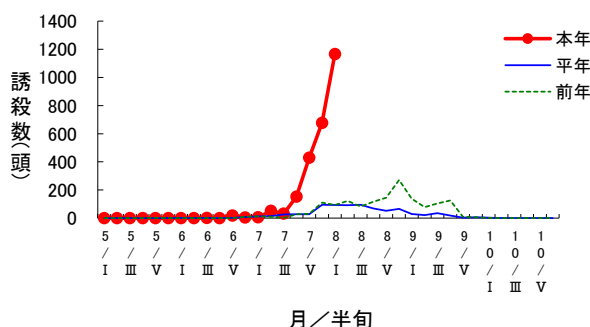


図2 予察灯によるクサギカメムシ誘殺数の推移
(高山市国府町)

表	ヒノキ1果当たりの口針鞘数 (本/果)			
	岐阜市 東秋沢	大野町 寺内	美濃加茂市 下米田	美濃市 曾代
7月中旬	—	—	0.46	0.53
7月下旬	4.6	3.0	12.2	6.2
8月上旬	3.7	17.5	16.4	7.0

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>